レーザーによるほくろ除去の注意点

一つの項目を確認しましたら右の___に名字をご記入ください。

1) どのレーザーを使用しても、ほくろ除去はレーザーの光が熱に変わってほくろを焼くとい う行為です。つまり「いいヤケド」をさせる治療です。 ___

2) 焼け跡つまり傷跡 (時に潰瘍) には多かれ少なかれなります。
ほくろ同士が隣接する場合、傷跡がつながる可能性があります。 ___

3) 完全に正常な皮膚に戻るわけではなく、仕上がりには個人差があります。 ___

4) 焼け跡になるので「赤み」が必ず出ます。短期間で消える方と、数年残る方もいます。
これは照射前には予測できません。**「施術後の炎症 (赤み)」、「へこみ」、「傷跡」が元のほくろより大きくなる場合があります。** ___

5)「へこむ」可能性があります。「へこみ」のリスクがないレーザー治療は存在しません。
へこみが気になる方は、レーザー治療を行わないことをお勧めします。 ___

6) 傷跡が赤く or 白くなり (首、鼻下や唇は要注意です) 盛り上がることがあります。
その場合、除去は困難です。白色瘢痕、肥厚性瘢痕といい、ほくろの除去に限らずキズの最終的な状態です。これも、どのレーザーでも、どのドクターが施術しても起こります。 ___

7) 1回でとりきれない場合がありますが、(施術が複数回必要なケース)、2回目以降は再診料のみで、レーザー料金の追加はありません。(**ただし1年間有効**) ___

8) 水ぶくれや滲出液、にじむような出血が出る場合があります。 ___

9) レーザー照射をピンポイントで行いますが、ほくろより大きく熱が拡散するケースがあります。その場合、ほくろの大きさより大きく焼け、色素沈着を起こすケースがあります。 ___

10) マユ毛やヒゲの中にほくろがある場合は、毛が生えなくなる可能性があります。 ___

11) 点状の再々発例や例外があり、除去できない場合があります。 ___

※ 上記の内容につき理解した上で、施術を受けることに同意します。

20　　年　　月　　日

本人 住所

___

氏名

___

本人が未成年の場合 保護者氏名

___